

「イノベーション探究Ⅱ」～グローバル・ジャスティスプログラム～ 第1回

1. 実施日

令和4年4月23日（土）1・2限

2. 場所

1棟多目的教室

3. 対象

グローバル科2年生（6・7組）

4. 講師

鳥羽高等学校 教諭 山中脩平 三嶋千代子 中村啓介 藤原久美子

5. 内容

春休み課題図書の共有

前年度に「イノベーション探究Ⅰ」で出された図書課題（「グローバル課題」に関わる図書を読む）について、iPadにまとめたメモをもとにグループ内で交流する。

1グループ3人 1人3分発表、2分質疑応答

内容：「何を明らかにするために書かれたのか」「最も興味を持った部分は何か」
「どのようなリサーチクエスチョンが考えられるか」

ガイダンス（趣旨説明）

（1）はじめに

（2）「イノベーション探究Ⅱ」ガイダンス（日程等）

（3）「イノベーション探究Ⅱ」の到達目標など

①プレゼンテーションソフト資料を用いて発表する。（昨年度）

→チームの提言を論文にまとめて（アカデミック・ライティング）発表する。（今年度）

②課題設定の仕方について

自己の課題や関心のあることを選ぶ。

→自己課題について、関心のある探究領域・テーマを切り口にして研究していく。

③グループの研究論文を様々な大会などで発表する機会があることを知る。

④次回までに、6・7組の枠を超え、興味関心が近い生徒が集まり4人グループを作る。

（4）「課題研究テーマを考えよう！」ロイロノートを活用し、自己課題と関心のある研究領域・テーマを全員で共有する。

6. 学び

- ・他者が書いた読書レポートを読むことで、読書の質を高め問題意識を広げる。
- ・一年次に再発見した「京の智」を土台に、地球の智へと学びを広げていく。

- ・自己の課題や関心のあることを研究領域やテーマにつなげていくことで、自分事として研究を進めていくようにする。
- ・積極的にコミュニケーションをとりながら、グループで協力して研究を進めていくことが大切である。

7. 次回への課題

自分が興味・関心を持つ課題研究テーマについて考える。6・7組の枠を超え、興味・関心が近い生徒で4人グループを作る。

8. 授業の振り返り

春休み課題図書読書レポートについては「何を明らかにするために書かれたのか」「最も興味を持った部分は何か」「どのようなリサーチクエストが考えられるか」という点について、3人グループで発表した。ほとんどの生徒が熱心に取り組んでいたが、中には課題ができていない生徒もいた。SDGs、エシカル、女性、環境についての図書などがあった。

この3人グループは1時間目のアイスブレイクで「普段あまり交流のない人同士で3人組になる」という指示で集まったメンバーだった。意図としては、今年度は教員が指示をするのではなく、生徒間でできるだけコミュニケーションを多くとり、自分たちで主体的に活動して行ってほしいということである。研究グループについても、次回までに自分たちで4人グループを作ってくることにした。

今年度は、「チーム探究する力」を大きく伸ばしたい。そのためには、自ら行動する姿勢やコミュニケーション力の向上、シェアリーダーシップの伸張が必要になる。この軸を様々な取組に落とし込み、活動を行っていきたい。

